

○ワンヘルス※の理念に沿った化学肥料・化学合成農薬の使用削減や温室効果ガスの排出量削減等の環境負荷低減の取組を推進するとともに、「ふくおか地産地消応援の店」等での利用促進等を通じて消費者の理解促進、需要喚起を図る。

※人と動物の健康と、環境の健全性は、生態系の中で相互に密接につながり、強く影響し合う一つのもので、これらの健全な状態を一体的に守っていくという考え方

【作成主体】 福岡県及び県内全60市町村

【計画の主な目標】

- ワンヘルスの実践に取り組む経営体数※：6,000経営体
- ※ワンヘルスの理念に沿った生態系の保全、温暖化の防止や環境負荷の低減等の取組のうち、2つ以上の事項を実践して、環境に配慮した農林水産業に取り組む経営体数

【取組のポイント】

- 土壌診断に基づく過剰施肥の防止や局所施肥技術の導入、IPMの実践等により、化学肥料・化学合成農薬の使用低減を推進
- 有機農業の取組支援や需要喚起により有機農業の生産組織の育成を推進
- 省エネ施設・機械の導入や環境制御システムの活用により、収益性を確保しながら温室効果ガスの排出量を削減
- ワンヘルスの認証ロゴマークの活用やふくおか地産地消応援の店での利用促進等により、環境負荷低減事業活動により生産された農林水産物に対する消費者の理解促進や需要喚起

IPMの推進



露地なすにおける土着天敵の利用（イメージ）



ワンヘルスの認証ロゴマーク



ふくおか地産地消応援の店のステッカー